

図書館だより

令和6年10月2日発行

10月号

郡山第五中学校 図書委員会

1-2 2-2

学校司書 渡邊 恵美



図書委員おすすめの本



1-2



シリーズ物なので、他の本もぜひ読んでみてください！

日本とは常識が少し違う異世界での、個性的すぎる問題児メンバーの生活は見ていてとても面白いです。ぜひ読んでみてください。

『この素晴らしい世界に祝福を！』 あらすじ

たまの外出で不慮(?)の事故に遭ってしまった引きこもりゲームオタクのカズマ。目覚めたそこは、死後の世界だった。アクアという口の悪い女神に情けない死に方を散々ばかにされる。そして、何かひとつだけ好きな物を持って行けるという異世界行きの特権として選んだ“もの”は、「じゃあ、あんた」。こうして引きこもりゲームオタクと駄女神の、駆け出し冒険者の街、アクセルでの異世界冒険が始まるのだった…!?

「同志少女よ、敵を撃て」 逢坂冬馬・著

時は1942年。ソ連に住んでいる猟師の娘、セラフィマ。突如やってきたナチスドイツ軍の一団によって、セラフィマの母親含め村人は皆殺しに。母親を殺したドイツの狙撃兵イエーガーと、母の死を侮辱したソ連軍のイリーナ。セラフィマは2人に復讐を誓った。

ぶつかり合い、切磋琢磨しながら数々の戦場を切り抜いてきたセラフィマ達。1945年ケーニヒスベルグにて、セラフィマは最後の戦いに向かう…



アガサクリスティー賞
第166回直木賞候補
2022年本屋大賞
第9回高校生直木賞
2022年いちばん売れた小説 など

2-2

図書委員会では、現在桜木祭に向けて本を紹介するPOPを各クラスの図書委員で制作しています。桜木祭当日体育館に展示しますので、ぜひご覧ください。紹介している本はすべて図書室で貸出できます！（貸出中の本は予約ができます。）

先生のおすすめの本

笠井麻由先生

星の王子さま

サン＝テグジュペリ/作
三田誠広/訳



「大切なものは、目に見えないんだよ」

この言葉を聞いたことがある人、知っている人も多いかと思います。これは、星の王子さまがキツネから言われた言葉です。人と人、人と動物、人と植物などとの絆について深く考えさせられます。人間は損得で物事を見てしまうことがありますが、そうではないことを気づかせてくれる本です。他にも心に残る場面や言葉がたくさんあります。そして何より、王子さまがとても可愛らしく愛おしい存在です。

大人になっても純粋な心を持つことや物事の本質を見抜くことはなかなか難しいですが…。読む時代(年齢)によって考える視点が変わったり新たな発見があったりして、いつ読んでも面白いと思います。

サン＝テグジュペリの人生にも興味深いものがあり、お薦めしたい一冊です。

佐久間結先生

江國香織 「神様のボート」



中学生のときに1日で読み切った本です。江国さんの言葉は、とても綺麗なのに心にグサグサと刺さる時があって、読んだ後の複雑な気持ちは他の作者では味わえないものでした。納得できることとそうじゃないこと、理解できなくても受け入れること。すっきりさっぱりとしたお話ではないけれど、時折読み返したくなる作品です。